

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	14
都道府県名	神奈川県

【都道府県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組】

I. 学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
神奈川県学力向上推進地域	876校 (9校)	416校 (9校)	1292校 (18校)

II. 学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
①横浜地区協議会 (横浜市)	352校 (2校)	145校 (1校)	497校 (3校)
②川崎地区協議会 (川崎市)	114校 (1校)	51校 (2校)	165校 (3校)
③横須賀地区協議会 (横須賀市)	48校 (1校)	25校 (1校)	73校 (2校)
④湘南三浦地区協議会 (鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、寒川町、葉山町)	91校 (1校)	53校 (1校)	144校 (2校)
⑤高相地区協議会 (相模原市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市)	107校 (1校)	53校 (1校)	160校 (2校)
⑥中地区協議会 (平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町)	56校 (1校)	32校 (1校)	88校 (2校)
⑦足柄上下地区協議会 (南足柄市、小田原市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)	53校 (1校)	29校 (1校)	82校 (2校)
⑧愛甲津久井地区協議会 (厚木市、愛川町、城山町、津久井町、相模湖町、藤野町、清川村)	55校 (1校)	28校 (1校)	83校 (2校)

Ⅲ. 都道府県教育委員会としての支援策（実践研究の成果の普及方策の構築、指導資料の作成 等）

○地区別協議会に対して

- ・実践報告書を全小・中学校へ配布
- ・評価に関する指導資料を作成し、全小・中学校へ配布

○域内の学校（学力向上フロンティアスクール含む）に対して

- ・神奈川県公立中学校学習状況調査問題の提供
- ・学力向上に関する実践事例等の資料を提供
- ・指導主事による指導・助言

Ⅳ. 学力把握のための都道府県としての取組について

- ・神奈川県公立中学校学習状況調査の実施
抽出校49校からデータを集約し、その結果を全中学校に配布
(中学2年生を対象に年1回実施)

Ⅴ. 学力向上推進協議会について

○開催時期（参加対象）

【県】	第1回：7月（指導主事、校長、教員） 第2回：2月（指導主事、校長、教員）
【横浜地区】	第1回：5月（指導主事、校長、教員） 第2回：11月（指導主事、校長、教員） 第3回：2月（指導主事、教員）
【川崎地区】	第1回：5月（指導主事・教員） 第2回：11月（指導主事・教員） 第3回：2月（指導主事・教員）
【横須賀地区】	第1回：7月（指導主事、校長、教員） 第2回：1月（指導主事、校長、教員）
【湘南三浦地区】	第1回：6月（指導主事、校長、教員） 第2回：10月（指導主事、校長、教員） 第3回：1月（指導主事、校長、教員）
【高相地区】	第1回：6月（指導主事、校長、教員） 第2回：2月（指導主事、校長、教員）
【中地区】	第1回：6月（指導主事、校長、教員） 第2回：1月（指導主事、校長、教員）
【足柄上・下地区】	第1回：7月（指導主事、校長、教員） 第2回：2月（指導主事、校長、教員）
【愛甲・津久井地区】	第1回：7月（指導主事、校長、教員、保護者） 第2回：1月（指導主事、校長、教員、保護者）

○テーマと主な協議内容（協議の中で提示された成果や課題など）

神奈川県学力向上推進連絡協議会

<第1回>「学力向上フロンティア事業について」

- ・学力向上フロンティア事業の趣旨について
- ・個に応じた指導の充実のための体制整備と成果の普及について
- ・子どもたちが学ぶ楽しさを実感できる学校づくり
「一人ひとりの学習状況を把握し、きめ細かな指導の充実を図る」

<第2回>「平成14年度における実践報告と課題について」

- (1) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発
 - ・ 個に応じたきめ細かな指導を行う上で、補充的な学習や発展的な学習における一人ひとりの習熟の程度に応じた適切な教材はどのようなものか。
 - ・ 学校全体で、基礎学力について共通概念を持ち、各教科、総合等で相互の関連を図った体制づくりが重要である。
- (2) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善
 - ・ 実践研究の成果を何で見取るか数値目標を立て、日常の努力点、改善点が見えるようにする必要がある。
 - ・ 少人数指導の効果的な指導のあり方については、全職員による研究体制を確立し深めていきたい。
- (3) 児童・生徒の学力の評価を生かした指導の改善
 - ・ 授業公開を通して「学びあえる集団作りと個にせまる学習指導」のテーマで、評価を生かした指導の改善に向けて研究を進めてきた。
 - ・ 児童・生徒一人ひとりのよさや可能性を積極的に評価し、豊かな自己実現ができるよう研究を進める必要がある。
- (4) 課題
 - ・ 保護者や地域の教育力をさらに活用する。
 - ・ 児童の学ぶ意欲や内面の評価をするための方法を模索する。
 - ・ 学力の程度に応じた教材の開発を進める。

横浜地区

<第1回>「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」

- ・ 年間計画とフロンティア校の研究テーマについて
- ・ 少人数指導の組織編成の工夫、習熟度別クラスの仕方
- ・ 教科分担制のあり方
- ・ 学力の定着と応用を図る教育課程外活動と学習時間の弾力化
- ・ 選択教科のコース

※全校の組織体制の工夫に伴う加配の不足、習熟度別授業の評価のあり方が課題

<第2回>「確かな学力の向上を図る算数・数学の指導法及び指導体制の工夫
～少人数指導の実践をとおして」

「小学校」

- ・ 子ども自身によるコース選択とグループ編成、グループ分けのもとになるもの
学級型少人数、学年型少人数の実践報告

- ・繰り返し学習と課題選択学習、担当教師の配置と指導の重点化
- ・多様な学習スタイル（TT指導案・少人数指導案による実践報告）

※年間指導計画（教材開発）と評価規準の作成が課題

※算数が嫌いな理由と少人数グループ学習の嫌いな理由の分析

「中学校」

- ・個に応じた学習指導（数学・英語・理科）より数学実践報告
1年式単純少人数、2年3年習熟度別
- ・子どもの学ぶ意欲をのばす評価研究（国語・社会・音楽・美術・保体・技家）
- ・子どもによる評価、教師側の評価（5教科）

・教師の立場、子どもの立場、保護者の立場によるアンケート調査の報告

※基礎コース・応用コース別年間指導計画、評価規準の作成が課題

川崎地区

<第1回>「実践研究計画情報交換と今後の進め方について」

- ・各学力向上フロンティアスクール年間計画報告と取組の情報交換

<第2回>「実践研究経過報告」

- ・学力について及び評価を生かした授業改善
個に応じた指導のための指導方法、指導体制の工夫の成果について
- ・少人数集団のあり方としての習熟度別編成
児童・生徒及び保護者の反応について

横須賀地区

<第1回>「学力向上フロンティア事業について」

- ・学力向上フロンティア事業の概要
地区学力向上推進連絡協議会における今年度の年間計画について

<第2回>「今年度の研究状況」

- ・今年度の研究状況及び成果と課題
TTや少人数による指導の工夫・改善の状況について
- ・横須賀地区全体への研究の普及
公開授業等による他校への情報提供について

湘南三浦地区

<第1回>「地区協議会設置と研究推進について」

- ・地区学力向上フロンティア事業の実施
連絡協議会の運営及び研究推進について

<第2回>「研究推進と管内学校への普及について」

- ・研究実践報告及び広報活動
公開授業等による他校への情報提供について

<第3回>「協議会の今年度のまとめと次年度に向けて、研究会運営について」

- ・公開授業並びに研究会及び今年度の研究のまとめと次年度の課題について

高相地区

<第1回>「平成14年度学力フロンティアスクールの研究計画について」

- ・フロンティアスクールの本年度の研究内容について
習熟度別指導の取組が各教科でどの程度可能か。

研究最終年度までに学校における学力のとらえを明らかにする。
<第2回>「平成14年度実践報告と次年度研究計画について」
・実践報告及び15年度の研究計画について
教科担任制の取組や個を生かす評価の在り方について

中地区

<第1回>「学力向上フロンティア事業の具体的研究のあり方について」
・地区学力向上フロンティア事業の実施
地区学力向上推進連絡協議会の年間計画について
各フロンティアスクールにおける研究内容について
<第2回>「事業の進捗状況ならびに平成15年度の方向性について」
・平成14年度の取組状況と成果
少人数指導により、児童・生徒が意欲的に学習に取り組むようになった。
指導方法に関する研修が充実するとともに、教材を工夫することができた。
研究会や講演会を保護者や地域にも開き、広く学力問題を提起できた。
・平成15年度の取組について

足柄上・下地区

<第1回>「学力向上推進事業について」
・足柄上・足柄下地区学力向上推進連絡協議会
地区学力向上フロンティアスクールの取組について
<第2回>「フロンティアスクールの取組と来年度の方向性について」
・フロンティアスクールの取組と来年度の方向性について
①小田原市立三の丸小学校
読書タイム、三の丸タイム（国語・算数の特別時間割）の日課表の工夫
や学習支援ボランティアの導入により児童の学習意欲が向上した。
②南足柄市立南足柄中学校
教職員全員が確かな学力の育成に向けて授業改善に取り組むとともに、
朝読書の設定など学校生活の改善を図った。
※課題：学習へに対する意欲の向上を図るための手だてと指導法の工夫・改善
学力の積み上げを図るための幼・小・中の連携指導の在り方
学校・保護者・地域が一体となって取り組む新たな学習づくり

愛甲・津久井地区

<第1回>「学力向上推進事業の理解と事業計画の作成」
・地区学力向上推進連絡協議会の役割と研究の進捗状況
趣旨説明及び質疑をとおして、事業に対する理解が深められた。
課題を明らかにするとともに研究の方向性について検討できた。
<第2回>「フロンティアスクールにおける取組とその成果の普及」
・研究の進捗状況
授業改善をとおして、子どもたちが意欲的に学習するようになった。
・成果の普及の在り方
フロンティアスクールにおける情報発信への積極的な取組について

VI. 実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

1 事業評価の実施方法・内容

- (1) 地区連絡協議会においては、フロンティアスクールにおける実践研究の成果を地区内すべての小・中学校に提供し、その普及に努めながら、その取組内容について広く評価を求めた。
 - ・ 学校教育目標の具現化や指導体制の全体計画への位置付け
 - ・ 子どもの変容（意欲の高まりはあるか・分かりやすいか・教材は適切か）
 - ・ 評価に関する情報の収集・整理・分析
- (2) 個に応じた指導のため、子どもの学習の状況を調査した。
 - ・ 学習内容の確実な定着を見る学力テストの活用
 - 教育課程実施状況調査問題
 - 神奈川県公立中学校学習状況調査問題
 - 横浜市校長会評価部会編調査問題 等
- (3) 公開授業等を通して研究実践の成果を公表し、指導方法等についての評価を行い、その後の実践に生かした。
 - ・ フロンティアスクールの取組の成果を推進地域内に公表し成果を共有するとともに、各校における課題の明確化とその改善に向けた方策について検討し、実践研究の取組を進めている。
 - ・ 教員の指導力の向上に対する意識調査（教科担任制等）

2 進捗状況（成果、課題 等）

<成果>

- ① 指導体制・組織の工夫
 - ・ 学力の分析や問題解決の力を伸ばすための授業のあり方を研究を通して共通理解することができた。
 - ・ 単元プリントの利用、学習カルテの作成を通して、授業改善を目指した研究授業実践から、新しい評価に対応する取組が進められた。
 - ・ 子どもの課題に対するつまづきを早期に発見できている。
- ② 子どもの学習意欲
 - ・ 児童の算数における理解度や学習意欲が高くなり、算数を好きと答えた児童が4月当初より10%増えた。
 - ・ 少人数指導の教科は、アンケートの結果から生徒の支持が多くあり、興味・関心をもって取り組んでいることがわかった。
- ③ 成果の普及と保護者の期待
 - ・ HPの作成、公開授業、地区研修会での実践発表、リーフレットの作成、各教育委員会主催研修会での実践報告等、フロンティアスクールにおける研究成果の普及策について具体的な取組が行われた。
 - ・ 地区連絡協議会委員に推進地域内保護者代表や小・中学校長会代表の方にも参加していただいたことにより、協議に広がりや深まりがみられた。

<課題>

- ・ 少人数集団による学習の指導計画とその際の評価規準の作成及び評価について、評価方法や総括の仕方に関して研究を進める。
- ・ 習熟の程度に応じたコースの指導体制、指導方法のスタイルはある程度確立してきてはいるが、教材について、意欲を持って取り組めるものや発展的な学習となるものの開発を進める。
- ・ 推進地域内における各校の取組や課題についての情報交換を充実し、指導方法に関する研究と併せて取組を強化したい。

【地区別協議会における特色ある取組】

(地区内の学校に対する支援策)

- ・ 横浜市小学校・中学校教育課程運営改善研究委員会、総務委員会・各教科等専門委員会において全校を対象とし、学力理論及び学力向上に関する実践研究、個に応じた指導等を研究主題として研究協議会を実施した。(横浜地区協議会)
- ・ 教育課題研究委員会(算数・数学・理科・英語における少人数・習熟度別学習等)を設置した。(横浜地区協議会)
- ・ 横浜カリキュラムの発行。(指導方法の工夫・改善等)(横浜地区協議会)
- ・ 学校教育推進会議(各区)において、校長・実務担当者対象の少人数指導等の研修会を実施した。(横浜地区協議会)
- ・ 中学校における全市的な学力状況調査を実施した。(川崎地区協議会)
- ・ 「小学校評価資料」を作成し全校に配布した。(横須賀地区協議会)
- ・ 指導方法改善研修会において、フロンティアスクールの実践研究を提供するとともに、他校の少人数指導の実践等についても協議を行い情報交換を図る。
(湘南三浦地区協議会)(高相地区協議会)(中地区協議会)
- ・ フロンティアスクールにおける実践研究の推進及びその成果の普及のため、事業検討委員会を設置した。(愛甲・津久井地区協議会)

(実践研究の成果の普及方策)

- ・ 教育課程開発セミナーにおいてフロンティア校の実践研究を発表した。
(横浜地区協議会)
- ・ 地区連絡協議会の研究推進の取組とフロンティアスクールの実践研究についてリーフレットを作成し、管内の小・中学校と関係各機関へ配布した。
(湘南三浦地区協議会)
- ・ 教育事務所の指導課だよりの記事として、少人数指導の推進や学力フロンティアスクールの紹介等を掲載した。(高相地区協議会)
- ・ 研究成果を教育事務所の主催事業等において授業公開や研究発表を行うことで地区の学校に広める。
(中地区協議会)(足柄上・下地区協議会)(愛甲・津久井地区協議会)